

目次

- 1 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況 . . . p. 1
- 2 人材需要の動向等社会の要請 . . . p. 4

学生の確保の見通し等を記載した書類

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

神戸女子短期大学（以下「本学」という。）は入学定員の適正化を図るため、食物栄養学科（以下「本学科」という。）の入学定員を140人から120人に、収容人員を280人から240人に変更する。

	(変更前)		(変更後)
食物栄養学科 入学定員	140人	→	120人 (△20人)
収容定員	280人	→	240人 (△40人)

少子化による18歳人口の減少、短期大学志願者数の減少及び家政系学科の志願者数の減少など様々な要因により、本学科の過去5年間における平均入学者数の充足率は94%となっている（＜資料1＞表1）。このことから、本学は定員充足率の向上を図るため、食物栄養学科の入学定員及び収容定員を変更する。

子どもの食育やメタボリックシンドロームなどが大きな社会問題となり、食や健康に関する関心が高まってきている中、本学科は、日々の健康を支える「食」を提供する確かな技術と、こころとからだの成長に役立つ「食」のあり方を考え実践する力を養うことを目的に、知識や教養はもちろん、実験・実習にウェイトを置いた授業内容で、卒業後に栄養士として即戦力となる多くの栄養と食育のスペシャリストを輩出してきた。このような本学科の取組に対して、受験生、保護者、高等学校からは一定の評価を得ており、その結果として本学科の受験者数は概ね450人程度を維持し、過去5年間の平均志願倍率（志願者数/入学定員140人）は3.30倍となっている（＜資料1＞表1）。全国の私立短期大学の平均志願倍率1.43倍（日本私立学校振興・共済事業団「平成27（2015）年度私立大学・短期大学等入学志願動向」p.28）と比べると、若干の増減はあるものの志願者数は安定的に充分確保できているといえる。

したがって、志願者数が減少しているものの入学定員を140人から120人に変更することにより、一定水準以上の志願倍率を確保しながら、入学定員に見合う入学者数を確保することは十分可能であると考えます。

イ 定員充足の根拠となる調査結果の概要

文部科学省の「学校基本調査」における「短期大学の関係学科別本科入学状況」では、短期大学全体の志願者数並びに短期大学の家政系学科における志願者数は年々減少傾向にある。平成 18 年度の短期大学全体の志願者数 166,363 人に対し、平成 27 年度は 96,825 人と約 42%減少している。一方、家政系学科志願者数は平成 18 年度 33,932 人に対し、平成 27 年度は 18,217 人と約 46%減少している（＜資料 1＞ 表 2）。短期大学全体の志願者減少率と比較すると、家政系学科の減少率の方が大きくなっている。本学にあってもこの数字が示すとおり、食物栄養学科の志願者数が減少しており、平成 28 年度は前年度より約 35%減少し、入学定員も満たせない状況が 3 年間続いている（＜資料 1＞ 表 1）。

一方で、オープンキャンパスの参加者数は平成 25 年度がポートアイランドキャンパス全体で 1,453 人、平成 26 年度は、オープンキャンパス参加者数のうち本学科の志願者数が 430 人、平成 27 年度が 421 人と安定した人数となっている。また、本学科への資料請求者数も平成 25 年度 624 人、平成 26 年度 638 人、平成 27 年度 597 人と入学定員の 4 倍以上の人数である（表 3）。これらのことから、本学科への志願意欲は安定的に推移していると考えられ、変更後の入学定員 120 人は確保できるものとする。

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

本学科の学生確保に向けて、以下に示す取組を実施している。

① 受験生向けメディアの活用

受験情報誌（リクルート、ベネッセ、キッズコーポレーション他）において本学科の概要を高校生が進路に関心を持ち始める時期を中心にして段階的に掲載し、食物栄養学科の資料請求者は平成 25 年度 624 人、平成 26 年度 638 人、平成 27 年度 597 人と募集人員の 4 倍以上を集めている（＜資料 1＞ 表 3）。また、資料を請求してきた受験生に対しては時期や地域に応じてオープンキャンパスや進学相談会等の情報を提供し、参加を促している。

② Web を活用した情報提供

本学ホームページにおいて、学科の目標、学修内容、就職、進学、資格など学科の情報を多岐にわたって紹介しており、別途、同一法人の神戸女子大学と一体となった受験生向けホームページ（Smile Navi Web）を開設して、入試情報、イベント情報、キャンパスライフ、各種動画、ブログ等を掲載し、高校生に対して入試情報や学生生活等の全般にわたって本学ホームページとは異なる視点から情報提供を行

っている。特に、Web の特性を活かした動画については授業、イベント、クラブ他様々な視点から在学生の活動の様子を紹介して、平成 27 年度の実績として約 31 万件のアクセス数があり、広く高校生に活用されている。

③ 資料請求者に対する情報提供

資料請求者に対しては『大学案内』や『入試要項』の他に、隔月（4月・6月・8月・10月・12月）で神戸女子大学と共通の情報誌『スマイルナビ』を発行し、『大学案内』とは異なる視点で情報提供を行っている。この情報誌では「短大特別号」として本学の魅力を紹介した特集記事を組み、短大の紹介に特化した冊子を発行するなど、十分な情報提供を行っている。また、アンケートハガキで受験生の反応や興味・関心を調べ、広報活動に反映させている。

④ オープンキャンパス等イベントでの情報提供

平成 27 年度はオープンキャンパスを 6 月から 9 月まで合計 6 回実施し、計 421 人の高校生が本学科を志望した。本学科の特色を活かした展示・授業体験・学科相談・在学生とのフリートークを始め、入試相談、キャンパスツアー、保護者説明会等様々なプログラムを実施し、本学科の内容や在学生の様子等を理解できるよい機会を提供している。また、オープンキャンパスとは別に、各学科の特徴的な授業を体験する「短大授業体験 DAY」を年 1 回開催しており、短大の魅力を発信する機会を設けている。

⑤ 高等学校に対する情報提供

本学には高等学校訪問の専従職員が 2 人おり、本学の受験実績校を中心に広く丁寧な、年間で延べ 800 校以上の高等学校の進路指導室を訪問している。常に、最新情報を提供し、近隣の高等学校には多いところで年間 6 回以上も訪問し、高等学校の進学状況に応じて情報の提供を行っている。

また、本学独自の高等学校教員対象の説明会や高等学校内ガイダンス、高等学校単位でのキャンパス見学の受け入れ等も含め、様々な手法で情報提供を行っている。

⑥ 多様な入試制度

本学では多彩な入試方法を実施しており、AO 入試、指定校推薦、公募制推薦、一般入試、大学入試センター試験利用入試など、年間で 13 種類の多種多様な入試を用意している。特に平成 29 年度入試には公募制推薦入試において、調査書の配点比率の異なる入試を導入する予定としており、さらにその選択の幅を拡げている。試験

科目も公募制推薦入試で5科目（英語・国語・化学・生物・日本史）、一般入試においては最大7科目（英語・国語・化学・生物・数学・日本史・世界史）を用意し、文系・理系を問わず多くの受験生が受験しやすい体制をとっている。

また、兵庫県以外からの受験生も多いため、学外試験会場も推薦入試前期で6会場（京都・大阪・和歌山・岡山・広島・高松）、一般入試前期では11会場（東京・金沢・名古屋・京都・大阪・和歌山・米子・岡山・広島・高松・福岡）、3月に実施される一般入試後期でも3会場（大阪・福山・高松）を開設し、近畿地区だけでなく遠隔地からの受験生の負担が少なくなるよう試験会場を設定している。

2. 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

（人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的）

本学の目的は、「教育基本法及び学校教育法に基づき、女性生活に関する教養と技術について高等教育を施し、望ましい社会人を育成することを目的として、もって我が国の文化の進展に寄与すること」である。また、「民主的で文化的な国家を建設して、世界の平和と人類の福祉に貢献しようとする有為な女性を育成する」と定めた「建学の精神」に基づき、21世紀社会に貢献する「自立心・対話力・創造性」を備えた次のような女性を育成することを目指している。

- ・ 勤労を愛し、義務と責任を重んじ、主体的に社会参画を果たそうとする自立心を備えた女性
- ・ 相手の心情をよく理解し、自分の意思を豊かに表現することのできる対話力に優れた女性
- ・ 学術の研究を通して身に付けた識見をもとに、自ら主体的に考え問題解決を図ろうとする創造性に富んだ女性

そのため、食物栄養学科においては、「人間性豊かな食と健康のクリエイション」をスローガンに、時代が求める「食」のスペシャリストの育成を目指している。それを達成するため、食と健康に関わる諸問題について系統的な研究と教育を行い、健康な生活を送るために必要とされる幅広い知識と深い専門性を備えた、社会にとって有為な自立した女性の育成を教育研究上の目的と位置づけ、具体的には、以下の能力と態度を有した人材の養成を行っている。

- ① 「食」に関わる将来への目的意識が高く、何事にもチャレンジして実社会の即

戦力として活躍しようとする強い意思を持っている。

- ② 時代が求める「食」のスペシャリストとして、幅広い知識と専門性を身に付けている。
- ③ 「食」の研究に関心を持ち、これからの食生活と健康のあり方について、自ら主体的に勉学を深めている。

(教育課程の編成方針)

本学科では、前述の①～③の人材を養成し、資質の高い社会の即戦力となる栄養士を育成するため、「栄養士資格に関する科目」、「栄養士以外の資格に関する科目」、「選択科目」によって次のように教育課程を編成している。

- ・ 「栄養士資格に関する科目」は、卒業必修科目と栄養士資格取得に必要な科目に分けて履修する。生活習慣病による病気の増加や高齢化への対応、子どもの食育の実践、食生活の変化など、多様な食を取り巻く問題に対応するために、調理実習や実験を多く取り入れて、実社会で役立つ栄養士養成カリキュラムを編成している。
- ・ 「栄養士以外の資格に関する科目」は、食品関係の企業の要望に応えられる人材としてのフードサイエンティスト、食に関する高度の専門知識を有し、流通・販売者と消費者に的確な情報を提供することのできるフードスペシャリストの受験資格、さらには教員免許である栄養教諭二種免許状を取得できるカリキュラムを用意している。
- ・ 「選択科目」では、資質の高い栄養士の養成に必要となる基礎科目とともに、将来の栄養士としての実践力を養うための応用科目を開講して、学生のニーズに対応したきめ細かなカリキュラムを編成している。

(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

本学科は、栄養士養成施設の指定を受けている学科であり、栄養士資格に関する科目として、専門基礎科目に「社会生活と健康」、「人体の構造と機能」、「食品と衛生」、専門科目Ⅰとして「栄養と健康」、「栄養の指導」、「給食の運営」を設置している。その他、フードサイエンティスト資格、フードスペシャリスト資格及び栄養教諭二種免許状取得に必要な選択必修科目を設け、社会の各分野に対応でき、特に、食品関係の企業の要望に応えられる人材育成を行っている。

平成28年3月卒業の職種別就職実績としては、栄養士が最も多く45%、事務職23%、販売15%、製造・調理8%の順となっており、業種別では給食が最も多く27%、製造、保育がともに16%、小売9%、飲食7%となっていることから、多くの卒業生が食品関係の企業への就職、栄養関連に就業している。

求人状況については、5年前（平成23年度）の1,865件と比較すると平成27年度は約1.5倍の2,665件となり、若干の増減はあるものの十分に確保されている（〈資料1〉表4）。

本学は、平成23年4月1日施行の学校教育法と短期大学設置基準の一部改正を受けて、同年に教学組織である「キャリア教育部」を設置した。本学科にあつては、クラス担任、ゼミ担当教員及びキャリア教育部の事務組織であるキャリアサポートセンターが連携して教職協働によるきめ細やかな就職支援体制を構築している。また、1年次の段階では教養科目として「キャリアへのアプローチⅠ」及び「キャリアへのアプローチⅡ」の履修により学生の職業観・勤労観を育成し、学生が卒業後に社会的・職業的自立が図れるようキャリア教育に積極的に取り組んできた。これらの取組により就職率は、平成24年3月卒業生では84.4%であったものが、平成28年3月卒業生では96.9%に伸びている（〈資料1〉表5）。

このような学生支援体制の強化やキャリア教育及び専門教育の充実化により、平成24年度以降の本学科の就職率は大幅に増加する結果となっており、女子短期大学である本学食物栄養学科が養成する人材は、今後も社会的・地域的な需要が十分見込め、社会の期待に応えていけるものと考えている。

<資料 1 >

■表 1 食物栄養学科 入学志願状況推移

【単位：人】

年度(平成)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	過去5年間平均
志願者数	595	496	519	442	276	466
受験者数	593	496	519	440	273	464
入学者数	160	147	121	135	97	132
志願倍率	4.3倍	3.5倍	3.7倍	3.2倍	2.0倍	3.3倍
入学定員充足率	114%	105%	86%	96%	69%	94%

日本私立学校振興・共済事業団「学校法人基礎調査票」より抜粋

■表 2 短期大学全体入学志願者数／家政系学科入学志願者数推移

【単位：人】

年度 (平成)	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
全体	166,363	144,746	127,786	115,443	115,598	110,796	104,267	106,354	100,878	96,825
家政系	33,932	29,669	26,284	24,271	23,542	20,858	19,868	20,569	18,934	18,217

文部科学省「学校基本調査」より抜粋

■表 3 食物栄養学科 資料請求者数推移

【単位：人】

年度(平成)	25年度	26年度	27年度
請求者数	624	638	597

■表 4 神戸女子短期大学 求人件数推移

【単位：件】

年度 (平成)	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
短大計	1,507	1,367	1,357	1,249	1,370	1,865	2,681	3,201	2,814	2,665

■表 5 神戸女子短期大学 就職率推移 (就職者数÷就職希望者数)

【単位：%】

年月 (平成)	19年 3月卒業	20年3月 卒業	21年3月 卒業	22年3月 卒業	23年3月 卒業	24年3月 卒業	25年3月 卒業	26年3月 卒業	27年3月 卒業	28年3月 卒業
食物栄養 学科	87.4	76.2	76.7	63.2	71.3	84.4	87.1	90.2	96.3	96.9
短大計	85.2	74.6	68.6	58.3	71.0	82.4	89.8	91.6	92.7	96.2